

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第5回 桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年 1月 23日(木) 16:45 ~ 17:40

2 場 所 家庭科室

3 委員長あいさつ

4 協議内容(○:委員の発言 ●:回答等)

(1) 学校評価について

成果・課題, 学年の児童の様子を踏まえて, 学校関係者評価書を用いて説明を行った。

○不登校児童の欠席理由はいじめが原因なのかどうか。30 日以上の欠席だが、もっと長期だと、どれくらいの長期になるのか。

●いじめが原因という理由ではない。欠席が 30 日以上の児童の中には、100 日を超える児童もいる。

○3年生まで楽しく登校しているが、4年生になると「学校が面白くない」と聞くことが多い。「面倒くさい」という言葉が出てくる。原因は分からないが。

●抽象的な考えをする学習が増えてくるため、4年生は難しいと感じる児童が多いと考えられる。繊細な児童も多く、教室のざわざわする感じや人との関りを苦手とする児童が増えている。

○さくらルーム(ほっとルーム)の利用者はどれくらいいるのか。

●12人が利用している。教室に入ることができる児童もいるが、さくらルームで1日を過ごす児童もいる。学校とつながっていることは大切にしたい。

(2) その他

令和7年度の登校時刻の変更について(昇降口を開ける時刻 7:50→8:00 へ変更)

5 教育支援課より

・学校評価書について、専門用語を使わずよく分かるように表現を工夫しているが、SC や SSW という言葉は聞きなれないかもしれません。SSW は県から4~5人派遣してもらっている。支援の方法の検討や、関係機関につなげていけるように取り組んでいる。すべての学校に派遣することが難しいが、困った際は要請することができる。

・非認知能力の項目は記入しにくいかもしれないが、学校でこういう取組もできるのではないかなど、意見をお願いしたい。

・働き方改革に取り組むことで、児童に関わることができる時間が増えている。来年度に向けて取組を進めていけるとよい。

○児童数に対して教員の数は足りているのか。教育にお金をかけないといけない。

●4 月当初は足りているが、途中で職員が休まれた学校では、不足している学校もある。